

助成事業実施報告書

団体名 自立援助ホーム なごみハウス圓

代表者・役職名 氏名 野田 大燈

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

ホーム生の安全確保のために、防犯対策を強化させたい。

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期＝法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

社会福祉法人四恩の里は、児童養護施設等を運営しています。しかし、以前は施設を退所した、行き場のない子ども達のフォローが十分にできている状態ではありませんでした。平成 21 年度に厚労省の自立援助ホームを全県下に一施設との方針を受け、「運営は厳しいと言われているが、必要な施設であるならば取り組むべきだ」との法人役員会での決議により、平成 22 年 4 月 1 日設立に至りました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

相模原殺傷事件等を受け、香川県でも社会福祉施設等における安全確保に関する講習会が開催され、防犯意識の保持や環境整備を行う必要性をさらに感じました。防犯対策として、カメラはすでに設置しています。しかし、門扉の高さが低く、隙間もあり、施錠もできないので誰でも簡単に侵入できる状態です。また、経年劣化により、門の損傷も激しくなっています。新しい門扉に交換して、不審者の侵入を未然に防ぎ、安全確保に努めたいと思いました。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

施設の建物の構造は2階建て、外階段があり2階が食堂・風呂・リビング・事務所、1階が子どもの居室になります。敷地が狭く、外階段の為、子どもが出入りする生活の様子が通り沿いから見えてしまっています。また、職員は2階にいるため、不審者侵入の発見が遅れる可能性があります。施設の安全性を高めるために、ハード面の対策として、門扉を高く、頑丈な物に交換し、外階段を道路から見えないようにしました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

子ども達に以前より、安心・安全な場所を提供する事ができました。その為、心身共に落ち着いて、本来の目標である自立に向かってより一層取り組めるようになり、職員も不安感なく、子どもの支援に取り組めるようになりました。また、門扉が新しくなることで、施設の雰囲気も変わり、ホーム生、職員共に新たな気持ちで課題や支援に取り組むことができます。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

環境面を整えて満足するのではなく、職員の防犯意識(日々の見回り、施錠の確認等)もより高めていく必要があると思っています。毎月行っている防災訓練に加えて不審者への対応を、ホーム生を交え訓練を行っていく予定です。それに沿ったマニュアルの見直しも行なってきます。日々の事件・災害のニュースを元に、ホーム生と語らう中でホーム生の思考を知り、訓練及び支援につなげていこうと考えています。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり · 特になし

なごみハウス園

〒781-8067
高松市西山町1338

警察官立寄所

防犯調査作動中

防犯調査作動中
SECURITY

コミュニティホール回廊
連携利用表

使用申込みは、TEL 882-4022
FAX 881-5908 まで

なごみハウスの

警察官立派出所